



2018年1月5日

各位

会社名 富士製薬工業株式会社
代表者 代表取締役社長 武政 栄治
(コード番号 4554 東証第一部)
問合せ先 取締役 常務執行役員
コーポレート本部長 上出 豊幸
(TEL. 03-3556-3344)

2018年 社長年頭挨拶

本日、富士製薬工業株式会社（以下「当社」）は、社内にてテレビ会議システムを通じて全社員に向け、社長による年頭の挨拶を行ないました。

なお、当社社長の挨拶は以下の通りです。

記

新年明けましておめでとうございます。

2017年を振り返りますと、女性医療のリーディングカンパニーを目指し新たに新薬の導入開発を開始いたしました。また、造影剤を初めとする注射剤事業強化のために、タイのOLIC (Thailand) Limited 社（以下「OLIC 社」）にて新しい注射剤工場を竣工させ、日本向けの造影剤の出荷を実現いたしました。そして、社員が働く機会・成長の機会を広げるためにキャリアデベロップメントプランなど新たな人事諸制度を導入したことなどが掲げられます。

2018年の標語は、総合力の発揮です。社員ひとりひとりが部署を越えて互いを思いやる心を持ちながら協力関係を築き、知恵を出し合い各々の目標を達成することが必要です。どの業界もそうですが、世の中の流れが毎年速く動いています。その動きに遅れないためにも、中期経営計画の作成時に決めた主体性、挑戦、スピードのある行動が大切です。

2018年の新たな取り組みとして、一つは富山工場で新薬の受託製造を本格的に開始することです。当社の質の高い製造実績の積み重ねが新しいお客様に評価された結果で

あり、新しい業務を通じて新たなノウハウの蓄積に繋がることを期待しております。

もう一つは、タイを中心とした ASEAN 市場参入への準備のスピードを速めていくことです。得意領域でのブランド×ジェネリック×CMO の相乗発展モデルを国内のみならず海外でも機能させるため OLIC 社を最大限活用していきます。

さて、女性医療ではリーディングカンパニーを、急性期医療では造影剤と特定分野のがん領域でのシェア拡大を目指しておりますが、それぞれ売上高が 100 億円と 200 億円を超えました。女性医療では、医療機関の先生方からは、世代に応じた疾患に対する品揃えの多さとドラッグラグ解消を含めた新薬への挑戦に評価を頂いており、今後もその期待に応えていきます。また、急性期医療の造影剤事業では、特に当社製造医薬品は、原薬から最終包装製剤に至るまでの品質へのこだわりと、加えて市販後の安全性フォローアップなどが評価されており、更なるシェア拡大に向け経営資源を投入していきます。

最後に、当社では、S (Safety、安全性)、Q (Quality、高い品質)、D (Delivery、安定供給)、C (Cost、コスト競争力)、E (Environment、環境保全) の重要性を徹底しているところですが、なかでも最優先にしているのは Safety 安全性であり、これは身体の安全のみならず心の安全も含めてであることをご理解下さい。また、本件に関しては、製造部門や品質管理部門のみならず、研究開発部門、信頼性保証部門、営業部門、コーポレート部門など全ての部署にあてはまります。全社員が安全第一で業務に励んでまいります。

本年も、皆さんにとりまして、幸多く、更なる飛躍の年となることを祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

以上